



かわむらざいけん

河村瑞賢生誕400周年記念

訪問航海

5月27日、奈屋浦漁港において、東宮出身の偉人で江戸時代前期の商人、河村瑞賢の生誕400周年を記念し、瑞賢が開いた東回り・西回り航路をヨットで迎える訪問航海の出航式が行われました。

今回の訪問航海は、五ヶ所浦で遊漁船やヨット教室などを行っている寺田順さんが昨年10月から企画し、かねてより日本一周を夢見ていたことと、瑞賢のことを広く知ってもらい、町のPRを行いたいとの思いで企画され、町が企画する河村瑞賢生誕400周年記念事業のひとつとして、町が協力することになりました。

出航式では、小山町長や方座浦西堀区長などから航海の無事を祈るエールが送られていました。ヨットは、6月2日に五ヶ所港を出発し東回り航路の静岡県下田港、千葉県銚子港を巡りながら、6月20日に山形県酒田港に入港し、酒田市では、小山町長からの親書を丸山至市長へ届けました。その後西回り航路を使い、新潟県、石川県、山口県の港を経由し、南伊勢町方座浦に立ち寄り、7月中旬に五ヶ所港へ帰港する予定です。



オープンガーデンが賑わう

南伊勢町船越にある^{しおみ}汐見オープンガーデンに植えられた花が次々と見ごろを迎え、大きな話題となりました。

オープンガーデンとは、自宅の庭を一般開放し、見学希望者など広く来訪者を受け入れるもので近年各地で趣向を凝らしたものが話題を呼んでいます。

今回紹介するオープンガーデンは、船越地区にお住いの石崎清土さんが熱心に手入れを行う庭園です。

石崎さんは富山県出身で、名古屋に住んでいた頃より南伊勢町の風土が気に入りに、この場所を購入後、南伊勢町に足繁く通って庭園の整備を行い5年前に名古屋から移住、汐見オープンガーデンが誕生しました。ここでの自慢は、庭園内にある200種類以上の花の中でも、700本を超えるササユリが自生していることです。

かつては町内で広く見られていたササユリが群生している姿を見て、記憶の中で咲いているササユリと重ねあわせ、思い出に浸る姿をみかけると、石崎さんは言います。石崎さんは、次々と訪れる来訪者を案内し、オープンガーデンの見所や、花について話していました。汐見オープンガーデンは例年、5月～6月中旬頃ササユリの花が終わる頃までです。



マスコットキャラクター
『たいみー』

毎月、ふるさとの出来事を
楽しくお伝えしていきます！

南伊勢町役場 行政経営課
政策係 電話 0599-66-1366